

令和元年(2019年)11月15日

第 **145** 号

編集・発行人 西澤 均
年6回発行(奇数月の15日)
定価:1部105円・年間630円(税・送料共)
購読料は日歯連盟会費に含む

日歯連盟広報

発行:日本歯科医師連盟 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-20
TEL: 03-3262-8644 FAX: 03-3263-0345 E-mail: jdpf@jdpf.jp

日歯連盟ホームページ <http://www.jdpf.jp/>



Pick Up!

高橋会長・加藤厚労大臣対談



本連盟の高橋会長と加藤勝信厚労大臣が対談を行った。診療報酬改定から国民皆保険制度、歯科の重要性など多岐にわたるテーマが取り上げられた。【1・2面】



高橋 英登 日本歯科医師連盟会長
加藤 勝信 厚生労働大臣

スペシャル対談 「人生100年時代」 を見据え 歯科界の果たす 役割

高橋英登会長 本日はご多忙の中、対談いただき感謝いたしております。また令和元年9月11日内閣改造での厚生労働大臣ご就任おめでとうございます。どうもありがとうございます。



平成29年8月から平成30年10月の前回の任期中には、平成30年度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定に携わりましたが、2度目の厚生労働大臣ご就任にあたり、今期の意気込みを教えてください。

第4次安倍第2次改造内閣にて厚生労働大臣へご就任の意気込みについて



加藤勝信大臣 前回の大臣任期中には、平成30年度の診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬の同時改定に取り組み、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民一人ひとりが状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、質が高く効率的な医療・介護の提供体制の整備等を推進しました。

今回の令和2年度診療報酬改定については、「人生100年時代」に向けて、一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生活できるような医療提供体制を構築するとともに、質の高いサービスを効率的に提供できるようにしていくことが必要です。

このため、「医療従事者の業務負担の軽減や業務の効率化に資するICT等の活用等を通じた医師等の働き方改革の推進」、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医等の機能の評価や、口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応の充実、生活の質に配慮した歯科医療の推進等を通じた患者・国民に身近な医療の実現」、「地域の実情を踏まえた医療機能の分化、連携と地域包括ケアシステムの推進」、「後発品の使用促進や薬・重複投薬への対策等を通じた制度の安定性・持続性を高める取組」等について検討していく必要があると考えています。

「人生100年時代」に向けて、誰もが安心して暮らすことができる社会の実現のため、令和2年度診療報酬改定に

ことし5月の皇位継承に伴い、10月22日に「即位礼正殿の儀」が皇居・宮殿で行われ、新たに即位された天皇陛下が即位を内外に宣言された。当日朝からの強い雨と風は儀式の直前に止み、そこには青空と虹が現れたという。スーッと霧が晴れていくような平成から令和へと明るい時代の幕開けだ。ラグビーワールドカップ2019日本大会も大盛況に終わり、ジャパンにとって目標だった史上初の決勝トーナメント進出を果たし、ベスト8に入った歴史的快挙は後世にまで語り継がれるだろう。典型的な「わかファン」となった私は、初めてパブリックビューイングで観戦するなど新たな経験ができて嬉しかった。加えて「わか組」を煙たがることがなく歓迎し、温かく受け入れてくれるラグビー界にも感謝! 本会報は今号から新企画や新連載も始まり大きく変わろうとしている。歯科医師会の政治団体として「いま政治の世界ではなにが起こっているのか?」また「政治の力が我々の診療にどのように作用しているのか?」などを会員の先生方に誤解のないようしっかりと丁寧に伝えて参りたい。本連盟もまさに「ONE TEAM」で歯科界の困難や苦勞を乗り越え、幸せや豊かさを共有できれば幸いだ。



広報委員 武田 直丈

（一面からの続き）
しっかりと取り組んでまいります。

国が目指す全世代型社会保障の構築に向けた取り組みについて

高橋 全世代型社会保障検討会議が設置されました。国が目指す全世代型社会保障の構築に向けた取り組みについてお聞かせ下さい。

加藤 「全世代型社会保障検討会議」については、少子高齢化と同時にライフスタイルが多様になる中で、誰もが安心できる社会保障制度に関わる検討を行うべく、第一回を9月20日に開催したところです。

全世代型社会保障の検討にあたっては、何よりもまず、国民の安心につながる社会保障の将来の姿を考えながら、議論を進めていくことが大切だと考えています。

具体的には、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年の先、団塊ジュニア世代が高齢期を迎え、支え手の中心となる生産年齢人口の減少が加速する2040年頃を見据えた対応が必要です。

全世代型社会保障改革の議論に当たっては、こうした2025年や2040年といった将来の日本の社会を見据えつつ、健康寿命を伸ばし、支え手を増やしなから、あるべき医療や介護がどういう形か、その中でどういった負担と給付にしていけるのかということを議論していくべきだと考えています。

社会保障の大部分を所管し、直接責任を負う厚生労働省として、西村大臣（全世代型社会保障改革担当）と連携しながら、全世代型社会保障制度を構築してまいります。

国民皆保険制度を堅持するための国の考えについて

高橋 世界に冠たる我が国の国民皆保険制度は、全国一律で質の高い医療を受けることが出来る大変素晴らしい制度です。わが国最大の課題である少子高齢化が進む中で、団塊の世代が全員後期高齢者となる



2025年や高齢者数がピークを迎える2040年に向けてさらなる国民医療費の増大が見込まれます。この国民皆保険制度を堅持するための国の考えをお聞かせ下さい。

加藤 我が国は、国民皆保険の下で広く国民に医療へのアクセスを保障することを通じて、世界最高レベルの平均寿命と保健医療水準を実現してきました。

一方で、今後を展望すると、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年や、団塊ジュニア世代が高齢期を迎え、支え手の中心となる生産年齢人口の減少が加速する2040年頃を見据えた対応が必要です。

現在、全世代型社会保障の構築に向けて議論を行っています。こうした2025年や2040年といった将来の日本の社会を見据えつつ、健康寿命を伸ばし、支え手を増やしなから、医療のあるべき姿などの社会保障システムをトータルで議論し、そうした中で給付と負担の在り方についてもしっかりと議論していくべきと考えています。

その上で、医療保険制度における給付と負担の見直しについては、骨太の方針2019において、「骨太方針2018及び改革工程表の内容に沿って、総合的な検討を進め、骨太方針2020において、給付と負担の在り方を含め社会保障の総合的かつ重点的に取り

組むべき政策を取りまとめる。」とされており、関係者の意見を聴きながら、引き続き検討していきます。

口腔の健康と医療費削減の関係性について

高橋 歯科医による口腔機能管理の徹底により、新生物医療費の約15%（6000億円）近くを削減できる可能性、誤嚥性肺炎にかかる医療費の950億円程度を削減できる可能性、在院日数を10%以上削減効果が見込まれるなど、口腔の健康が医療費削減の鍵と考えますが、大臣のご見解をお聞かせ下さい。

加藤 近年、歯科医師等が口腔機能管理を行うことにより、「がんの手術を行った患者に対する入院日数の短縮や医療費削減の効果がある」、「要介護高齢者に対する口腔ケアにより誤嚥性肺炎の発症率が低下する」といった調査報告があることは承知しており、口腔の健康は全身の健康につながる重要なものとして認識しています。

また、う蝕や歯周病などの歯科疾患の予防を中心とした歯科医療機関への定期受診を若年期から継続させることは、歯科医療費だけではなく医療費全般を抑制できる可能性があるとの報告もあります。

口腔機能管理を推進することで術後の誤嚥性肺炎の発症率が低下する等の効果が指摘されていることから平成30年診療報酬改定において、「周術期の口腔機能管理の評価の対象となる疾患の追加」、「周術期の口腔機能管理を特に行う病院を評価するための施設基準の見直し」等を行いました。

今後とも、中医協の議論等を踏まえつつ周術期をはじめとした口腔機能管理の推進に適切に取り組んでいくとともに、口腔の健康と全身の健康の関係に着目した総合的な歯科保健医療の施策を一層推進してまいりたいと思います。

歯科の重要性が3年連続で骨太方針に掲載されたことに関して国の受け止め方

高橋 2017年から2019年にかけて3年連続骨

太の方針に年々充実した歯科の重要性が取り上げられ、特に「生涯を通じた歯科健診の充実」が明記されました。なぜ歯科健診が大切かといいますと、自然治癒しない歯科疾患は早期発見、早期治療とともに予防医療が重要だからです。口腔の健康は歯科疾患にとどまらず全身の健康に密接に関連しており、歯科医療によってさまざまな疾病のリスクを抑制することが明らかになってきました。生涯を通じた歯科健診の充実で健康寿命を伸ばすとともに、医療費削減の可能性も見込まれます。この点につきまして、大臣のご見解をお聞かせ下さい。

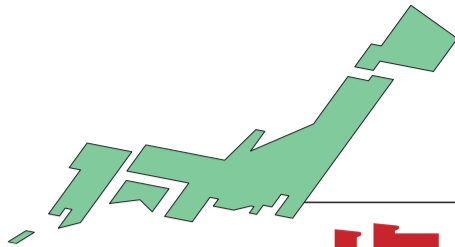
加藤 口腔の健康の保持・増進を図ることは、健康で質の高い生活を営む上で重要な役割を果たしていること認識しています。その中でも、歯科疾患の予防や早期発見、早期治療を進めるため、ライフステージに応じた歯科健診や歯科保健指導は重要です。

このため、私が大臣を務めていた平成30年7月31日には歯科口腔保健推進室を省令室として設置し、省内関係部局や自治体とも連携を図りながら、歯科健診の充実や口腔機能の向上に資する事業を通じて歯科口腔保健・医療の充実を図っているところです。

また「経済財政運営と改革の基本方針2019」や「成長戦略フォローアップ」においても歯科健診の機会の拡大等が盛り込まれています。

これらを踏まえ、平成30年度から実施している「歯科健康診査推進等事業」において、「効果的・効率的な歯科健診や保健指導の実施方法の検討」、「歯科健診の実施効果や医療費との関連性の検証」等を行っており、来年度の概要要求にも所要の額を計上しています。今後とも、歯科健診等の充実を図ってまいりたいと思います。

高橋 人生100年時代も見据え、高齢化が急速に進展する中で活力ある社会を実現するため、歯科界としても国民の健康を支え、健康寿命の延伸に向け会員一同尽力してまいります。本日はお時間をいただきまして、加藤厚生労働大臣から貴重なお話を伺うことができました。誠にありがとうございました。



都道府県から 歯科医療を語る



第1回

藤田 一雄

船橋 利実

北海道歯科医師連盟会長

衆議院議員(北海道一区)

(聞き手: 西澤 均 日本歯科医師連盟常任理事)

近年、歯科医療の充実が、国民の健康に大きく寄与することで、ひいては社会保障費の抑制に貢献できる可能性が注目されており、国会議員からも、歯科の重要性についてさまざまな場面で発言されております。
今号より、国会議員の先生とその地区の連盟役員の方をお迎えして、歯科へのかかわりを含めてお話を伺い記事として連載してまいります。

北海道歯科医師連盟からは、連盟の役員、評議員、また北海道歯科医師会の役員も出席しております。
北海道は広域で17の市区があり、その地区の評議員と道議会議員の先生方と同じ席で懇談していただく機会を設けています。

藤田 一雄会長(以下、藤田) 去年は北海道胆振東部地震のために中止となりましたが、毎年、「デンタルミートング in 北海道」を開催して、自民党の国会議員の先生と道議会議員の先生53名のうち、30名くらいがご出席されています。
そこで、高橋日歯連盟会長や山田宏参議院議員のご講演と、各国会議員の先生と道議会議員の先生のご挨拶をいただき、懇親会で意見交換を毎年行っています。

「デンタルミートング in 北海道」で北海道17郡市区の評議員と国会議員、道議会議員が一同に協議

西澤 本日は、日本歯科医師連盟評議員会の議長である北海道歯科医師連盟の藤田一雄会長と船橋利実衆議院議員にお話を伺いする機会をいただき、誠にありがとうございます。
まず藤田会長に、北海道歯科医師連盟の主な活動をご説明いただけますでしょうか。



また、国会議員の先生や地方議会議員の先生の政経セミナーには必ず出させていただき、お話を伺うだけではなく、こちらからも講師を出して、一般の後援会の皆さん方に歯科の話をしていただく機会をいただいております。
あとは、普及啓発、最近

「デンタルミートング in 北海道」で北海道17郡市区の評議員と国会議員、道議会議員が一同に協議

その他、「デンタル・タウンミートング」も17郡市区で開催しており、道連盟の役員が向いて、当地の道議会議員、市町村議会議員の先生方に集まらせていただいております。
また、自民党、公明党の政策懇談会で、北海道の歯科事情や、今でしたら、オールフレイルの話をして、議員の先生にその言葉からまず覚えていただくというようなことをしています。

我々は人生100年時代を見据えて、国民の皆さん方に健康づくりに常日頃から考えていただき実践していただく上で、身体全体の健康は、口から始まること

船橋利実議員(以下、船橋) 私は仕事柄、色々な場所で、色々な方にお会いしますが、最近は健康のためオールフレイルについてお話をすることが多いです。私自身もそうでしたが、年齢を問わずオールフレイルについて、まだまだ知らない方が多いですね。
我々は人生100年時代を見据えて、国民の皆さん方に健康づくりに常日頃から考えていただき実践していただく上で、身体全体の健康は、口から始まること

自分の健康は自分で気をつけてもらうことを伝える

最近では、私、孫が4人いますが、孫の歯の磨き方が分からず、歯科の先生と歯科衛生士さんから良いアドバイスをいただきました。それを子育て世代の皆さん方にお話しするものすごく喜ばれます。おかげで、私の株が上がるといふ良い循環が生まれています。
他にも、認知症では、高齢者の4人に1人が認知症あるいは認知症予備軍と言われ、大きな社会問題化となっています。80歳で20本の歯がある人と、ない人を比べると、20本歯がない人は、認知症になる比率が1.9倍になることなど、北海道歯科医師会の先生方から教えていただいた知識をお伝えし、国民の皆さんに「まず自分の健康は自分で気をつけていただくところから始めましょう」とお話をさせていただきますことが多いですね。

次代政策研究会について
西澤 ありがとうございます。先生が主催されている次代政策研究会をご紹介します。紹介していただけますか。
船橋 次代政策研究会とは、北海道議会議員と札幌市議会議員の当選回数3

オールフレイルとの付き合い
藤田 素晴らしい。その発想は初めて聞きました。
西澤 先生自身がそのような認識をされるスタートラインはどういうところからですか。
船橋 前職の道議会議員時代に、自民党政策担当として8020条例に携わり、北海道歯科医師会の先

この会では、歯科の問題に関して、北海道歯科医師連盟理事長の高橋雅一先生を講師にお招きし、オールフレイルの講演をいただきました。
西澤 次代政策研究会の先生方の反応はいかがでしたか。
船橋 詳しく知らない方が大半でした。何故、理解が低いと考ええると、健康の始まりは口腔ケアからということを、まだ国会議員も地方議員も知らない方が多く、この勉強会の中でもそれを認識する良い機会になりましたね。
今、「医科歯科連携」と言いますが、私は、言葉としては逆じゃないかな。人の健康が、口から始まるならば、「歯科医科連携」という言葉のほうが、理解しやすい日本語ではないかと思うのですが。

再生ぐらいいまでの方を対象に、各種専門分野の方を講師にお招きし勉強する会です。
西澤 それでは、お話しします。
最近では、私、孫が4人いますが、孫の歯の磨き方が分からず、歯科の先生と歯科衛生士さんから良いアドバイスをいただきました。それを子育て世代の皆さん方にお話しするものすごく喜ばれます。おかげで、私の株が上がるといふ良い循環が生まれています。
他にも、認知症では、高齢者の4人に1人が認知症あるいは認知症予備軍と言われ、大きな社会問題化となっています。80歳で20本の歯がある人と、ない人を比べると、20本歯がない人は、認知症になる比率が1.9倍になることなど、北海道歯科医師会の先生方から教えていただいた知識をお伝えし、国民の皆さんに「まず自分の健康は自分で気をつけていただくところから始めましょう」とお話をさせていただきますことが多いですね。

生方と直接ご相談を重ねた事がきっかけでした。
西澤 それでは、お話しします。
最近では、私、孫が4人いますが、孫の歯の磨き方が分からず、歯科の先生と歯科衛生士さんから良いアドバイスをいただきました。それを子育て世代の皆さん方にお話しするものすごく喜ばれます。おかげで、私の株が上がるといふ良い循環が生まれています。
他にも、認知症では、高齢者の4人に1人が認知症あるいは認知症予備軍と言われ、大きな社会問題化となっています。80歳で20本の歯がある人と、ない人を比べると、20本歯がない人は、認知症になる比率が1.9倍になることなど、北海道歯科医師会の先生方から教えていただいた知識をお伝えし、国民の皆さんに「まず自分の健康は自分で気をつけていただくところから始めましょう」とお話をさせていただきますことが多いですね。

偶然、歯の調子が悪くなり自宅から一番近い歯科医院が道内で有数の名医と伺い尋ねました。その先生に「私、歯が痛いんです」「私、歯が痛いたら、最初が」と言いましたら、最初に「船橋君、歯を磨け」です。私、1日2回は歯を磨いていますから、この先生が「名医」と言われているのは、「迷医」の方ではないかと、ちょっと疑いました。先生から「歯を磨いていても、正しい磨き方をしなければ、磨いていないのと同じだ」と伺い、初めて気がついたというのが実態です。そこから、それ以上に真剣にオールフレイルということについて自分自身も関心が高まり、取組みをより一層強めました。ですから、その先生に正しい歯磨きの重要性を教えていただかなければ、歯科の重要性に気がついていなかったかもしれないですね。
西澤 その名医が北海道民をはじめ国民の健康寿命を延ばすきっかけになるかもしれませんね。
船橋 そうですね。まさかその先生と今日こうしてお

話をすることがあると思ってもみなかったです。
藤田 私の一言が効いたのか、歯科衛生士の指導が良かったのか、船橋先生の口の中の状態はすごく良くなっています。
西澤 それは素晴らしいですね。
先生は、山田宏先生の主催の歯科口腔研究会にもご参加されていますが、この話もお聞かせいただけますか。
船橋 はい。メンバーとして入らせていただいています。

専門性の高い先生方から、最新の知見を教えてください。ただ、政治の場で歯科と医療の政策を立案する上で非常に有効な機会だと認識しています。

北海道歯科医師連盟と船橋議員とのつながり
西澤 北海道歯科医師連盟と船橋先生のかかわりにつきましてお伺いさせていただきます。
藤田 まず、僕が北海道の会長になる前に札幌歯科医師会の会長だった時からお付き合いが、船橋先生のお付き合いです。船橋先生は選挙区が札幌なものですから、その関係でよくお話しさせてもらうようになっています。それから僕が北海道の会長になってからもずっと続いています。
それで、船橋先生がすぐ

北海道歯科医師連盟と船橋議員とのつながり
西澤 北海道歯科医師連盟と船橋先生のかかわりにつきましてお伺いさせていただきます。
藤田 まず、僕が北海道の会長になる前に札幌歯科医師会の会長だった時からお付き合いが、船橋先生のお付き合いです。船橋先生は選挙区が札幌なものですから、その関係でよくお話しさせてもらうようになっています。それから僕が北海道の会長になってからもずっと続いています。
それで、船橋先生がすぐ

話をすることがあると思ってもみなかったです。
藤田 私の一言が効いたのか、歯科衛生士の指導が良かったのか、船橋先生の口の中の状態はすごく良くなっています。
西澤 それは素晴らしいですね。
先生は、山田宏先生の主催の歯科口腔研究会にもご参加されていますが、この話もお聞かせいただけますか。
船橋 はい。メンバーとして入らせていただいています。

話をすることがあると思ってもみなかったです。
藤田 私の一言が効いたのか、歯科衛生士の指導が良かったのか、船橋先生の口の中の状態はすごく良くなっています。
西澤 それは素晴らしいですね。
先生は、山田宏先生の主催の歯科口腔研究会にもご参加されていますが、この話もお聞かせいただけますか。
船橋 はい。メンバーとして入らせていただいています。

（この面からの続き）

い行動力があると感じたのは、歯科技工士の国家試験が全国統一化する時の会場予定地が、東京、大阪、福岡の3カ所しかなくて、札幌にありませんでした。北海道の受験生は、雪で飛行機が飛ばなくなることもある2月に海を越えて東京まで行かなくちゃいけない。これを先生に相談したところ、北海道厚生局に要望書を持っていく時に一緒に出でいただき、厚生局の局長が要望書を直接厚生局に持って行ってくださるきっかけを作ってくださいました。すごい行動力があった。ぜひ早いんです。お願いすると、すぐに調べてくださる。だから何かあったら船橋先生に相談させていたいただいております。



自由民主党 衆議院議員 船橋 利実

昭和58年 北海学園大学工学部 土木工学科卒業
平成3年 北見市議会議員1期
平成7年 北海道議会議員5期
平成24年 衆議院議員初当選
平成26年 北海商科大学大学院 商学研究科修士課程修了
平成29年 衆議院議員2期目当選

衆議院厚生労働委員会 委員
衆議院決算行政監視委員会 委員
衆議院災害対策特別委員会 委員
自民党国会対策 委員
自民党経済産業部会 副部長
自民党運輸・交通関係団体委員会 副委員長
自民党サイバーセキュリティ対策本部 幹事
自民党北方調査会 幹事
自民党北海道総合振興特別委員会 幹事
NPO法人地域活性化貢献会議 会長

昨年北海道新聞記事で「健康みらいトークin札幌」をご紹介いただきましたが、これも歯科医師会主催ですか？

予防で社会保障制度を守る

船橋 これは健保連さんが毎年全国各地でトークショーを開催しているものです。被保険者の方と一般の方を対象にして、健康づくりについて、われわれ政治家や、健康に関する専門的な立場の方を招いてトークショーをしています。昨年、札幌で開催する機会があり、生島ヒロシさんと私に出席のオフアワーが来まして、ここでもオーラルフレイルのお話などもさせていただきました。

西澤 オーラルフレイルにしても、歯科の重要性というかが、口腔健康管理が健康につながるって、医療費の削減につながるって、いくというふうな観点から、船橋先生からみた今後の課題は何かでしょうか。

船橋 特に2025年問題が、社会保障制度を持続可能なものとする上で大きな山だと捉えています。そこに向けて社会保障制度改革を政府与党で検討しています。目指している、全世代型社会保障制度は、世代間の不公平を解消し、人生100年時代を迎えた、国民一人ひとりのライフスタイルを支えられる制度とすることです。国民の健康づくりに大切な予防の取組みを歯科や医師の先生方の協力を得て進めることが社会保障制度を存続させていく上で重要だと思っています。

西澤 国民皆歯科健診の実現が求められています。船橋先生は先日の厚労部会でも健診時にクリーニングを入れることについてご質問をされているということ、それを含めてお考えをお願いします。

船橋 まだ国民の間で「予防」と「治療」の関係が理解されていないと思います。自分ではできる予防と歯科医院ならでの予防と治療があります。藤田会長がおっしゃっていました。歯、歯周病予防のための歯垢の除去なども、自分の歯磨きだけでは不十分な所を定期的に歯科医院で適切に予防と同時に治療を受けることが必要です。

西澤 口腔の健康を保つため、歯科健診を受けなければ予防につながらないのではなにか。これは少し強制力があっても良いと思っています。そこで来年度から、被



北海道歯科医師連盟 会長 藤田 一雄

昭和49年 日本歯科大学 卒業
昭和49年 札幌医科大学 口腔外科学講座入局
昭和52年 ゆうらく歯科診療所 開設
平成元年 医療法人社団有楽ビル フジタ歯科 理事長
平成6年 札幌歯科医師会 理事
平成18年 札幌歯科医師会 会長
平成25年～現在 医療法人社団典心会 理事長
平成27年～現在 北海道歯科医師会 会長
平成27年～現在 北海道歯科医師国民健康保険組合 理事長
令和元年～現在 日本歯科医師連盟 評議員会 議長

保険者の皆さん方の健康保持のための取り組みを保険者側が行うところにインセンティブを与えるというところが入ります。歯科健診なども、今後、国としても保険者側に指針を示し、保険者側がそれを受け、国民の健康保持に役立てていくという好循環を作れるように検討しています。

藤田 シームレスな歯科健診というのは、北海道歯科医師連盟も訴えています。高校卒業後40歳まで義務化されていないので、事業所歯科健診を事業所から北海道歯科医師会への委託事業でかなりの数を実施しています。去年、おととしぐらいから各市町村職員共済組合でも実施していますが、肝心の北海道庁の職員共済組合がまだ委託契約していません。こちらも進めていく予定です。

西澤 船橋先生の今後の展望を歯科だけに限らずお聞

今後の展望

かしてください。船橋 今、政策として力を入れているのは、マイナンバーカードの普及です。再来年から健康保険証として使っていたいただけます。ここに国民の健康情報を搭載することで、自分自身の健康管理にも使っていくっていただき、さらに集約されたデータをビッグデータ化し、国民にとって必要な医療、最先端医療技術の研究・開発などに有効に活用させていくことを考えております。人生100年時代を迎え、健康管理は、まず自己責任が第一で、それをサポ

西澤 本日は貴重なお話をありがとうございました。船橋 ありがとうございます。



デンタルミーティング in 北海道



デンタルミーティング in 北海道(左)と健康みらいトーク in 札幌(右)の様子

ートする体制を国や地方自治体、医療界につくっていただくことが重要だと思っています。マイナンバーカードに搭載されている情報は、歯科の先生方にも有効活用していただき、適切な医療を提供していただくことが政策的には大事だと思っています。これらの情報の扱い方がアナログからデジタルに変わっていくことにより、情報量をふやせて、かつ管理が非常に簡単になるメリットがあります。現在、母子手帳の電子化も一部地方自治体では進めつつありますが、これも全国的に普及させていきたいと検討しているところです。

西澤 ありがとうございます。船橋 骨太方針2019の中に、保険者努力支援制度ということで歯科健診・がん検診等の受診率の向上などに配点割合を高めるという表現で入れさせていただいています。それと、健康増進に向けた取組みの中で、歯科医師、歯科衛生士による口腔健康管理など歯科口腔保健の充実、入院患者等への口腔機能管理などの医療歯科連携に加え、介護・障害福祉関係機関との連携を含む歯科保健医療提供体制の構築に取組むこと。今まで以上に歯科分野の充実というものを来年度の予算編成の部分では反映させていくという形で骨太方針には入れることができました。診療報酬改定が控えておりますので、令和2年度の予算と診療報酬改定に歯科に関する部分を盛り込んでいくことが私にとっては重要な役割と認識しております。

新連載



日本歯科医師連盟顧問で参議院議員山田宏氏が本連盟広報委員会「論説委員」に委嘱されご就任されました。

今号から新企画として、山田宏論説委員が国会での活動や日々の政治活動・党務などから見えてくる様々な諸問題、歯科界のみならずさまざまな時局問題を毎号ズバリ書き下ろします。皆様ご存じの通り山田宏論説委員は今から3年前の参議院通常選挙で国政へ復帰され、健全な歯科口腔医療政策の実現に向けて「歯科医師でないからできること」というお立場で、

険しい道を切り拓かれています。歯科医師ではないけれど、歯科に精通した政治家であり、東京都議会議員をはじめ東京都杉並区長、衆議院議員、そして現在では参議院議員として34年間にわたり「さまざまな政治の場」でご活躍の山田宏議員。

さあ、今号から始まります新連載「歯科医でない「歯科議員」が挑む！」でどんなお話が聞けるのか？どうぞご期待ください！

歯科医でない「歯科議員」が挑む！

参議院議員 山田 宏

①

歯科保健予算、3年で4倍増のワケ

「歯科口腔医療勉強会」が果たした役割

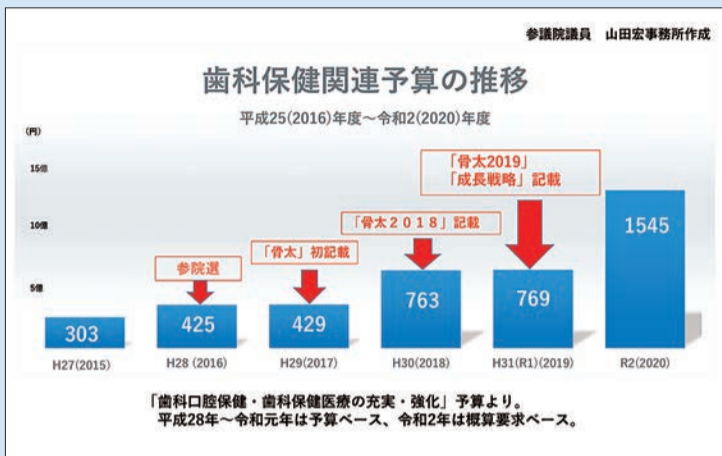
3年前の参議院選挙で、日歯連盟の多くの皆さんにご支援をいただき当選をさせていただきました山田宏です。今回から日歯連盟広報の論説委員としてコラムを担当することになり、歯科界をめぐる国の動きやこれからの方向などを、私なりの視点でわかりやすくお伝えしていければと思います。題して「歯科医でない「歯科議員」が挑む！」です。

さて私も参議院議員として6年の任期の折り返し点を越えましたので、初回は私が皆さんへの公約を果たすため、どう行動しその結果どうなっているのかをご報告したいと思っております。

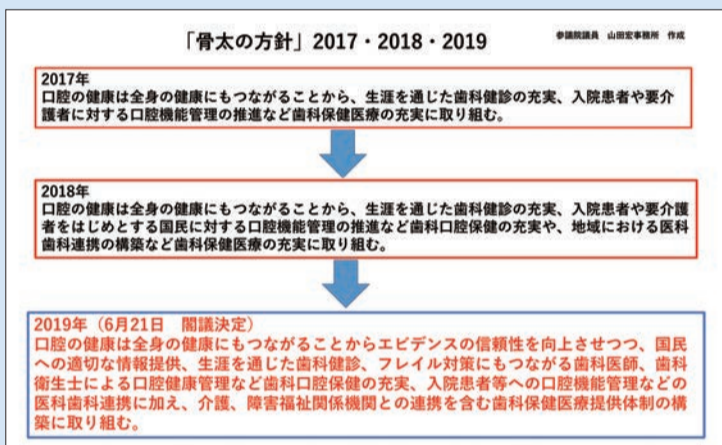
「骨太の方針」に歯科が初めて記載

まずグラフ①をご覧ください。これは国の歯科保健関連予算額の推移を示しています。来年度予算は概算要求段階で未確定ですが、私が当選した平成28(2016)年の予算4億2500万円は、就任3年目

グラフ①



表①



平成29年6月の「骨太の方針2017」への歯科の初記載は、日歯や連盟、そして多くの国会議員の長年の努力の積み重ねの成果であることは言うまでもありません。同時に私が当選直後の平成28年10月に、志ある自民党国会議員と始めた「歯科口腔医療勉強会」も大きな役割を果たしたと自負しています。

平成29年に本勉強会として「骨太の方針2017」に盛り込むべき内容についてまとめ、5月16日衆議院議員の岸信夫顧問、長尾敬事務局長と共に、安倍総理に直接「歯科保健医療充実に関する緊急提言書」を手渡し丁寧に説明しました。さらに6月5日の参議院決算特別委員会で、私は総理に対して「歯科と医療費の関係」について質問。そして経済財政諮問会議の議を経て、歯科

口腔医療勉強会の提言内容がそのまま「骨太の方針2017」に記載され、6月9日の閣議決定となりました。以降、毎年安倍総理に対して勉強会としての提言を直接行い、「骨太の方針」2018、2019と連続して歯科の記載が充実されていきました。

「国会歯学部」のようです。講義もこれまで16回を数え、当初19名で始まった勉強会も今や43名に増え、発足当時から議員の中には、専門家並みの議論をされる方も出てきました(表③)。

表②

Table listing the members of the Dental Oral Health Study Group (歯科口腔医療勉強会) and the schedule of their meetings (歯科口腔医療勉強会開催リスト) from Heisei 28 to Heisei 29.

表③

Table listing the members of the Dental Oral Health Study Group (歯科口腔医療勉強会) categorized by their political affiliation (衆議院, 参議院, 前参議院議員, 前衆議院議員).

の獲得には「国にとって何が正しい選択か」という納得できる大義が不可欠となりました。その場合は歯科出身の議員よりも、むしろ「国にとって歯科こそ重要」という信念をもった歯科の専門家でない議員がその大義を堂々と主張する方が、説得力が増すものだと思います。

歯科口腔医療勉強会の目標は、人生100年時代の明るい日本を築くため、国の健康政策の真ん中に「口の健康」をすえることです。そして全国の地方自治体においても自治体版「歯科口腔医療勉強会」が発足するように、国と地方の「歯科口腔医療勉強会」が連携して健康で長寿な日本を築いていきたいと思います。(日歯連盟顧問・広報論説委員)

活発な意見交換

国民歯科問題議員連盟(10/30)

国民歯科問題議員連盟の総会が10月30日(水)午前8時から自民党本部で開かれ、多数の衆参国會議員が出席、活発な意見交換が行われた。

会議は早朝にもかかわらず代理を含め224名の国會議員が出席、関心の高さがうかがえるものとなった。



会長の尾辻参議院議員

島村大参議院議員(事務局長)の開会で始められた会議は、会長である尾辻秀



国民歯科問題議員連盟総会(10/30)

久議員からの挨拶が行われた後、議題として①国民歯科問題議員連盟の役員について、②令和2年度歯科関係税制改正及び予算案が挙げられた。この中で日本歯科医師会の堀会長及び本連盟の高橋会長から諸要望が示され、活発な意見交換が行われた。特に②については、歯科医療が国民の健康や寿命延伸に影響することが研究等で明らかになっていくことが理解され、「骨太の方針」にも明記されて

いることから、今後の歯科医療の在り方を含む活発な発言が多く聞かれる総会となった。

意見交換がなされた主な項目としては、①初再診療の医科・歯科格差、②災害対策、③警察関係(身元確認を含む)、④スポーツ対

応、⑤歯科のチーム医療について、であった。

なお、当日の出席者に、衆参国會議員他、厚労省からは濱谷保険局長、宮寄健康局長、吉田医政局長

ほか関係者、日本歯科医師会からは堀会長ほか役員5名、本連盟からは高橋会長、村上、村岡、藤井の各副会長、浦田理事長、山下、

東海信越地区歯科医師連盟

役員連絡協議会(10/26)

10月26日(土)東海信越地区歯科医師連盟役員連絡協議会が、午後一時半より愛知県歯科医師会館において行われた東海信越地区歯科医師会役員・同国保組合役員・同連盟役員合同連絡協議会の後、会議場所を名古屋東急ホテルに移し開催された。

開催県が座長を務めるとの慣例に一同異議なく、愛知県歯科医師連盟池山正仁

理事長が座長を務めた。日歯連盟高橋英登会長の挨拶、日歯連盟山下智副理事長からの報告の後、協議に移った。

今回の協議会には、1. 郡市会(支部)でのデンタルミーティングに対する助成について(新潟県)、2. 次期参議院議員通常選挙について(岐阜県)、3. 参議院議員選挙結果の検証について(三重県)、4. 次

期参議院議員選挙における候補者選考と選挙運動について(静岡県)、5. 東海信越地区歯科医師連盟役員連絡協議会規約第7条の改正について(愛知県)、が上程された。



東海信越地区歯科医師連盟役員連絡協議会(10/26)

まず、各県で行われているデンタルミーティングの開催状況と、それに対する助成等が報告された。その後、会議時間の都合上、協議題2、3、4をまとめ、1.

院選挙候補者選考についての協議とするよう、池山座長からの提案がなされ了承された。

その後の協議の中で、今回の参議院比例選挙の総括を早く求める意見があり、また、諸般の事情により、候補者の擁立が紆余曲折したことが今回の反省点でもある。3年後は会員に候補者選考での透明性を確保し、日歯連盟全会員が丸となった選挙に挑めるようにお願いしたいなど意見が出された。

(文責 愛知県歯科医師連盟 副会長 池田幸一)

国民歯科問題議員連盟 質問者一覧

都道府県	選挙区	選挙区2	衆・参	議員
岩手	比例	東北	衆議院	高橋ひなこ
茨城	茨城	6	衆議院	国光 文乃
茨城	茨城		参議院	上月 良祐
埼玉	埼玉	7	衆議院	神山 佐市
埼玉	埼玉	10	衆議院	山口 泰明
埼玉	埼玉	14	衆議院	三ツ林裕巳
東京	東京	15	衆議院	秋元 司
東京	東京	25	衆議院	井上 信治
東京	比例	東京	衆議院	山田 美樹
神奈川	神奈川	5	衆議院	坂井 学
静岡	静岡	7	衆議院	城内 実
富山	富山	1	衆議院	田畑 裕明
大阪	大阪		参議院	松川 るい
京都	比例	近畿	衆議院	木村 弥生
京都	比例	近畿	衆議院	繁本 護
兵庫	兵庫		参議院	加田 裕之
兵庫	兵庫		参議院	末松 信介

スマホで学ぼう!

臨床実習開始前の歯科衛生生に
卒業間もないまたは就職直後の歯科衛生生に
長期プランク後復職を考えている歯科衛生生に

歯科診療の補助コンプリートBOOK
共同動作編 Part 1

監修 木下 淳博 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教育メディア開発学分野 教授
執筆 竹之内 茜 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 教育メディア開発学分野 太陽歯科衛生士専門学校 専任講師
大谷 悦世 太陽歯科衛生士専門学校 専任講師

B5判 ● 並製 ● 172ページ ● フルカラー ● 定価=本体3,600円+税 (送料実費)

本書は①MAP、②処置の手順、③確認問題から構成されています

1 MAP

まずは治療の一連の流れを、動画とコマ送りの写真で確認します。動画はQRコードを読み取って見ることができます!

2 処置の手順

MAPで大まかな流れを頭に入れた後、処置の詳細を学習します。ここでは、たくさんの写真と動画を見ながら学習できます!!

3 確認問題

確認問題にて学習後の理解度をチェックできます!!! スマホで見られるページでも練習問題にチャレンジできます!!!

動画で! 写真で!

処置の流れが、用意すべき器材がひとめで分かる!
次になにをすべきか迷わない!

スマホでお試し!

右のQRコードを読み取れば、本書中の「レジン修復」>処置の手順「Ⅲ.接着操作」>「6.隔壁」の音声解説付動画を見られます。ぜひお試しください!

一世出版 ISSEI 〒161-8558 東京都新宿区下落合 2-6-22 (ホームページ) <http://www.issei-pub.co.jp>

TEL: 03-3952-5141 FAX: 03-5982-7751
お求めは書店、各材料店または直接弊社(送料実費)まで



時局講演会を開催

11月7日(木)午後6時よりホテル椿山荘東京ボウリングルームにて、歯科関係者86名を招いて、「日本歯科医師連盟時局講演会」を開催した。



時局講演会(11/7)

高橋英登日歯連盟会長の主催者挨拶、森田晴夫日本歯科商工協会会長の来賓挨拶に続き、「歯科の時代が始まった」今後「国の行方」という演題で山田宏参議院議員、「時局講演」として小淵優子衆議院議員よ

◆本紙前号に掲載の平成30年度各会計収支決算の一部に誤りがありました。お詫びして下記のとおり訂正いたします。

お詫び・訂正

第1号議案 平成30年度一般会計収支決算

(自平成30年4月1日/至平成31年3月31日)

Table with 6 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差額, 執行率, 摘要. It details the budget and actuals for various categories like regular expenses, council fees, and political activities.

第3号議案 平成30年度選挙関係管理会計収支決算

(自平成30年4月1日/至平成31年3月31日)

Table with 6 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差額, 執行率, 摘要. It details the budget and actuals for election-related management accounting items.

◆本紙前号1面記事の一部に誤った記載がありましたので、お詫びして訂正いたします。

訂正前「我が国の平均寿命は80才に近づこうとしており、」 → 訂正後「我が国の平均寿命は女性では88歳、男性では82歳に近づこうとしており、」

時局講演会 参加社一覧(順不同)

Table listing participating companies at the symposium, including 株式会社モリタ, 株式会社デンタルダイヤモンド社, 株式会社東京医歯薬出版社, etc.

日歯連盟広報 145号特別付録

診療室に貼ってご利用ください!

日歯連盟 患者啓発用ポスター 認知症予防に 歯科健診を!



Advertisement for NEO Zalocain Paste, a dental surface anesthetic. It features the product name, '2種類の有効成分' (2 types of effective ingredients), '30%の配合量' (30% concentration), and 'フルーツ香り' (Fruit scent). It includes a list of contraindications, usage instructions, and contact information for Neo Pharmaceutical Co., Ltd.

活動目標について協議

日歯連盟参与会義 (10/24)

令和元年10月24日(木) 東京千代田区の日本歯科医師会館大会議室にて、全国の大学同窓会校友会会長を日本歯科医師連盟参与に就任いただきましたことを受け、参与会義が開催された。

橋会長は、短期目標として、金バラの価格問題や来春の診療報酬改定に向けた財源の確保、国家試験合格者の低きに触れ、歯科医師の活躍の場を拡大していきたいと述べた。中期目標として、医科歯科での診療報酬格差の是正、長期目標として、国民皆保険制度の維持、歯科衛生士・歯科技工士の雇用問題では、歯科技工士との関係改善、歯科衛生士の再就職のサポート、3年

後の参議院選挙では大学の学生にも応援していただきたいと述べた。特別講演として丸川珠代参議員から『これからの社会保障』をテーマに、社会保障制度調査会が今後の医療の財政的持続可能性について議論されていることや、厚労省の地域医療構想、社会保障改革の議論のなかでのエビデンスやデータの重要性を話された。しかしながら、人々の幸せ感、

美味しく食べられる度合い、介護ケアの質などテーマで表せない問題もあり、高橋会長との質疑で意見交換した。報告では、浦田理事長が先般の参議院議員選挙について、結果をしっかりと受け止め次回に繋げたいとし、その他、参与の帰属・任務・任期等に関する規約の改正、台風被害への連盟の対応、事業部と管理部に分けた事務局の改革、5つ



講演する丸川参議院議員

日本歯科医師連盟参与名簿

Table with 3 columns: 北海道大学歯学部同窓会, 会長, 村井 清彦. Includes various university dental associations and their presidents.

プロジェクトチームについて報告した。また「未来を担う若者たち」のDVDの更なる活用を求めた。協議では、日歯連盟の活動目標について協議され、

関口昌一参議院議員 参議院自由民主党議員会長就任!

高橋英登日歯連盟会長、堀憲郎日歯会長と表敬訪問



本連盟顧問で参議院議員の関口昌一先生(埼玉県選挙区・当選4回)におかれましては、7月29日の参議院自民党特別議院総会で、最も重要なポストである参議院議員会長に就く人事が正式に承認されました。

9月12日には本連盟の高橋会長をはじめ、村上副会長、村岡副会長、藤井副会長、浦田理事長、山下副理事長、富山副理事長、松崎理事ならびに日歯より堀会長ほか4名が表敬訪問を行いました。関口会長は「参議院のリーダーとして汗をかいていきたい」と、今後の議員会長としての意欲などを述べられました。



関口議員会長を囲む日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の役員



日歯連盟参与会義 (10/24)

の小幡純参与から、最近の世代は帰属意識が薄れている、高齢者だけではなく若い世代にも関心を持っていただける社会にしていかなければならないとの意見を述べられ、高橋会長は社会

最後に村岡副会長の帰属意識や一票の意義、それぞれがどう取り組むか、という今後の課題に触れながら閉会した。

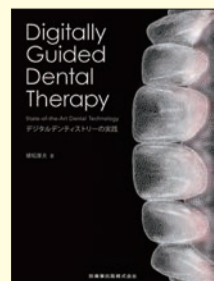
的評価を上げ歯科医になってよかったと思える社会にすることが我々の目標であること、を回答した。その他、新潟大学歯学部同窓会会長の有松美紀子参与からは、具体的なデータが国を動かす力となる、岡山大学歯学部同窓会会長の千原敏裕参与からは、連盟の活動や選挙で職代表に投票することの意味を分かりやすく伝えることが重要、鹿児島大学歯学部同窓会会長村上慎一郎参与からは、国立大学の選挙に関する考え方や参与会議の選挙前の開催要望、福岡大学歯学部同窓会会長宮口敏参与からは、先の参議院選挙についての感謝が表された。

医歯薬出版 ● 出版案内

医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 https://www.ishiyaku.co.jp/

Digitally Guided Dental Therapy

デジタルデンティストリーの実践



植松 厚夫 著

CBCTや口腔内スキャナーの有用性とその臨床応用を提示し、デジタルデンティストリーの具体的な実践方法についてわかりやすく解説しています。

A4判 / 136頁 / カラー ■ 定価 (本体 9,000円+税)

X線写真クイズ

1枚のデンタルから何を読み取るか?

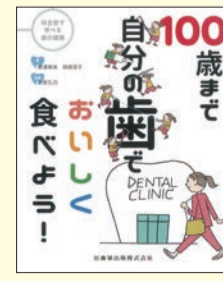


鷹岡 竜一 著

X線が読めると、病態の傾向、患者さんの未来が見えてくる——読影・診断能力を高めたい歯科医師、歯周治療のエキスパートを目指す歯科衛生士、必読の書。

A4判変型 / 168頁 / カラー ■ 定価 (本体 6,300円+税)

待合室で学べる歯の健康 100歳まで自分の歯でおいしく食べよう!



渡邊 晴美・齋藤 滋子 著 木野 孔司 監修

歯科医院待合室必備の一冊! 100歳まで自分の歯でおいしく食べるために、子どもからお年寄りまで実践していただきたい4つの方法を紹介します。

AB判 / 48頁 / カラー ■ 定価 (本体 3,000円+税)